



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022

SUPPORT PROGRAM
ボーイスカウト日本連盟
創立100周年記念募金のお願い

未来を創る青少年の育成をご一緒に



SCOUTS®
Creating a Better World



そなえよつねに
ボーイスカウト

あのときも、そして、今も——

青少年教育の一助にとボーイスカウト日本連盟が創設されてから、まもなく百年。世紀をまたぎ、地域のボランティアの力をあつめて青少年の教育に力を注いできました。情操教育の提供、教育機会の均一化、非行の問題や自然体験の不足や環境課題、そしてSDGsと、時代とともに移り変わる青少年を取り巻く課題に取り組み続けてきました。少年期、青年期の問題が社会の関心と注目を集め、子どもたちをより良い方向へ導いていくための地域社会による教育力に目が向けられている今、ボーイスカウトの果たす役割は極めて大きく、私たちは、社会の期待に応える責任と使命があると考えています。

いよいよ、ボーイスカウト日本連盟は2022年に創立100周年を迎えます。

社会奉仕活動や自然の中での体験などを多く取り入れたボーイスカウトの様々な活動を通して、青少年の健全な心と体の育成に貢献したいと、わたしたちは、強く願っています。どうぞ、皆さまのご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022





募金目的の紹介

皆様から頂戴したご寄付は、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念募金として、以下2つの目的に使用させていただきます。



■ 未来の子どもたち基金

さまざまな物事に取り組み、自分の得意なこと、好きなことを見つけ、伸ばしていくこと。そして、何事もただ知識を得るのではなく「行うことによって学ぶ」こと。学校や家庭では体験できない多様な経験を通じた、「こんなこともできるんだ」という成功体験と「次はがんばるぞ」という失敗体験の積み重ねが、子どもたちに自らの未来を積極的に切り拓いていく力をつけます。

世界にはばたく若者たちに

日本を飛び出す体験機会の提供。海外

の仲間たちと共同での社会貢献活動なども世界的な活動であるボーイスカウトならではのメリットです。こうした活動に取り組む主に大学生年代の若者たちのための渡航費等の支援を行います。

一人でも多くの子どもたちにボーイスカウト参加の機会を

経済的な理由でボーイスカウトに参加できない子どもたちにも提供するため、「ともにすすもう助成」として主にひとり親家庭の子どもたちをスカウト活動に引き入れる支援を行います。



■ デジタルミュージアム設立

ボーイスカウトが歩んできた歴史、様々な社会貢献活動、そして未来の子どもたちが活用できる様々な野外生活・野外遊びの知恵、楽しいゲームのヒントなどを集めたデジタルミュージアムの設立に向け、この100周年を機に取り組んでまいります。

全国各地から、そして海外からもオンラインで気軽に利用できる青少年を支援する、いわば情報センター。全国のどこに住む子どもたちでも、ボーイスカウトの知恵に触れることができるような環境づくりを想定しています。

SCOUTS for SDGs

2030年までの達成に向けて国際的に取り組まれている「持続可能な開発目標(SDGs)」について、私たちボーイスカウトも、青少年が自ら取り組める環境づくりと動機づけに取り組んでいます。100周年を迎えるボーイスカウト日本連盟へのご支援はSDGs(持続可能な開発目標)の実現に寄与することができます。

17 パートナリシップで目標を達成しよう



企業や団体様にとって、全国に仲間がいるボーイスカウト

との連携は、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の一助ともなります。

ぜひボーイスカウトへのご支援を契機に、連携プロジェクトなどもご一緒できれば幸いです。





総裁

御手洗 富士夫

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 名誉会長
日本経済団体連合会 名誉会長
キヤノン株式会社 代表取締役
役員会長兼社長 CEO

いま世界は、100年に一度ともいえる大転換期を迎えています。私たちは、新型コロナウイルスによる100年ぶりのパンデミック、AIの飛躍的発達をはじめとするデジタルテクノロジーの進化、地球規模の気候変動といった課題に直面しています。

これらの問題に共通する点があるとすれば、それは、人類社会が、大いなる自然との調和、バランスのとれた関係を失いかけている、ということではないでしょうか。とりわけ現代の子供・若者たちは、SNSなどのバーチャルな、自然と乖離した世界で過ごす時間が多くなっています。

そうした中で、幅広い年齢の青少年が優れた指導者のもとで、自然に触れながらチームを作って心身を鍛えるというスカウト運動の意義が、こ

れまで以上に重要になっています。スカウト運動の世界共通のミッションである「Creating a Better World」は、国連が掲げる2030年に向けた「SDGs（持続可能な開発目標）」の精神とも共通するものと言えます。

ボーイスカウト日本連盟は、2022年に、創立100周年という記念すべき年を迎えます。これを機に、さらに多くの未来の若者たちに大自然の中での豊かな体験活動の機会や、海外へ渡って世界の仲間たちと交流していく機会を提供するための基金作りに取り組みます。そのためには、日本全国の皆さまのご協力が欠かせません。未来を築く若者たちのために、皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



総長

奥島 孝康

早稲田大学 名誉教授・第14代総長
日本高等学校野球連盟 第6代会長
白鷗大学 第5代学長

ボーイスカウト運動は20世紀初頭、1907年に英国で始まり、瞬く間に世界へ拡がりました。わが国にも1908年には伝わり、各地で少年団の活動が始まりましたが、日本全国の少年団が結束し、全国組織となったのが1922（大正11）年です。その翌年、関東大震災で日本は大きな打撃を受けましたが、帝都復興院総裁として復興の指揮を執られたのが、当連盟の初代総長後藤新平でした。ボーイスカウトも復興支援の奉仕活動に積極的に取り組みました。

以来100年にわたり、ボーイスカウトは仲間同士の野外活動や地域社会への奉仕活動を通じて、様々な技能を身につけ、その力を「人の助けにな

る」ことに役立てていくという奉仕の精神を育てまいりました。個人主義、利己主義ではなく、自らすすんで周囲の人を助け、ともに力を合わせて前進していく若者の育成は、この先の100年も変わらず社会に必要なことと私たちは信じています。未来を担う若者の育成なくして、よりよい未来の社会は築けません。

今後もより多くの若者たちにボーイスカウトへの参加の機会を提供していくべく、当連盟は100周年を機に若者支援の基金作りに取り組むことにいたしました。何卒皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



理事長

水野 正人

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 副理事長
専務理事 ミズノ株式会社 相談役会長

スカウト運動は世界172の国と地域で5,700万人が参加する、世界的な青少年育成運動です。コロナウイルスの世界規模での打撃を受けていた2021年にも、170の国と地域の仲間たちがオンラインで集い、人類社会・生態系の持続可能な開発目標を実践するSDGsの取り組みについて話し合うなど、それぞれの国の若者たちがそれぞれに工夫をしながら、気候変動などの困難な課題にもレジリエンス（打たれ強い・強靭性）をもって諦めずに取り組み、より良い世界を築くという同じ志を共有している、素晴らしい活動です。世界中に仲間がいるボーイスカウトでは、中学生年代から海外

派遣、国際交流などの機会があり、大学生年代になると、いくつかの国の仲間たちと協働して課題を抱える国の支援に取り組むなどの国際的なプロジェクトに取り組む機会もあります。環境問題をはじめとするグローバルな課題にも積極的に役割を果たしていけるリーダーシップを持った若者がボーイスカウトから育っています。

こうした若者たちの海外派遣、国際協力活動への財政面からの支援もこの基金の大きな目的の一つです。より良い世界を築くための教育機会の提供に、皆様のお力をお貸しください。何卒よろしくお願いいたします。

募金募集要項

- 1 募金名称 ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念募金
- 2 募金目的 創立100周年記念事業に要する事業の資金の為
— 未来の子どもたち基金の創設
— デジタルミュージアムの設立
- 3 募金目標額 1億円
- 4 募金の種類および1口当たりの寄付金額
- ① 個人向け／5,000円、10,000円、50,000円、100,000円
 - ② 法人向け／50,000円、100,000円、500,000円、1,000,000円（口数に制限はありません）
- 5 募集期間 2021年（令和3年）12月～2023年（令和5年）3月末日
- 6 申込及び振込方法
- ① 募金申込書に所要事項をご記入のうえ日本連盟にEmail・FAX等でお申し込みのうえ金融機関にてお振込みいただくか、またはボーイスカウト日本連盟ホームページにある創立100周年記念事業サイトからインターネット（クレジットカード決済）にて寄付申込書に所要事項ご入力のうえ、お振込みいただけます。
 - ② お配りしている振替用紙を使い、ゆうちょ銀行ATMでゆうちょ口座の通帳・カードより振替いただければ、手数料はかかりません。
※ ゆうちょ銀行の新料金設定により、2022年1月17日から現金によるお振込みの場合は手数料加入者側負担の用紙を用いても「現金取扱加算料金（1件110円）」を振込者にご負担いただくこととなります。
郵便振替 00180-9-608067
[ゆうちょ銀行へ送金の場合：支店名 019店（ゼロイチキョウ店）／当座預金／口座番号 0608067]
口座名義 ボーイスカウト日本100周年記念募金
（カナ表記） ボーイスカウトニッポンヒャクシュウネンキネンボキン
 - ③ この寄付金につきましては、税の優遇措置をうけることができます。
（1）個人の場合

当連盟は税額控除適用団体として内閣総理大臣より証明を受けており、所得税に係る寄付金控除について「所得控除」の他に「税額控除」方式が選択できます。「税額控除」方式は、多くの場合「所得控除」方式に比べ、減税効果が大きくなります。入金確認後、確定申告に必要な「寄付領収書」及び「寄付金控除に

係る証明書」を送付いたします。到着まで入金後1か月かかりますので予めご了承ください。

(2) 法人・団体の場合

公益財団法人に対する寄付金は、一定の損金算入限度額に相当する金額まで、一般の寄付金とは別枠で損金として扱うことができます。また法人地方税は法人税の納付額を基礎に計算されますので、法人税の減免に伴い地方税も減額となります。

なお、クレジットカード払いによる領収書の領収日は、申込日及び決済日でなく日本連盟へクレジット会社を通じて寄付金が入金された日になります。

7 顕彰

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念募金にご寄付をいただいた方に対して、次のように顕彰をさせていただきます。

	金額	
① 個人向け	5,000円	御礼状
	10,000円	御礼状、記念記章
	50,000円	記念記章、感謝状、100周年記念品（※非売品）
	100,000円	記念記章、感謝状、100周年記念品（※非売品）、記念式典へのご案内
② 法人向け	50,000円	感謝状
	100,000円	感謝状、100周年特設Webサイトにご芳名掲載
	500,000円	感謝状、100周年特設Webサイトに社名ロゴ等ご掲載、記念式典・レセプションご招待（1名）
	1,000,000円	感謝状、100周年特設Webサイトに社名ロゴ等ご掲載、記念式典・レセプションご招待（2名）

8 個人情報の取り扱い

ボーイスカウト日本連盟では、寄付にご協力いただいた皆様の個人情報は、ボーイスカウト日本連盟における「個人情報保護に関するガイドライン」に基づき適正に管理いたします。

9 その他注意

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念募金は、本趣意書及びボーイスカウト日本連盟ホームページ以外の方法で募集することはありません。

お問い合わせ先／公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 創立100周年記念募金担当

住所 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 / 電話 (03) 6913-6262 / メール bokin@scout.or.jp

BS出身著名人からのメッセージ

山下 泰裕

柔道家



現代の若者たちは小さな挫折で心が折れたり、気に入らないことでキレやすいと言われる。私自身も少年時代に参加したボーイスカウトでは、仲間たちと野外で楽しみながら、失敗を繰り返し互いに励ましあい力を合わせてさまざまな物事に取り組みました。こうした経験の積み重ねは、子どもたちに周りとの協調や「あと少しがんばろう!」という強い心を育みます。一人でも多くの子どもたちにこのような機会を提供するための基金作りに、ぜひ皆様のお力添えをお願いいたします。

宮川 大輔

タレント



僕はボーイスカウトのキャンプで、夜のテントで子どもたちだけで遅くまであれこれ話すのが楽しみで、みんなを笑わせることがどんどん好きになり、自信もつけたと思います。またボーイスカウト活動を通じて先輩や新人、大人たちとの関わり合い方を学んだことは今の人生に大きく役立っています。学校では学べない様々な体験ができるボーイスカウトに参加するチャンスを、多くの子どもたちに提供したいですね。

渡辺 裕之

俳優



小学生のときに水戸の黄門祭りパレードにボーイスカウトの鼓隊で参加し、皆から褒められ人気者になれたことが私がドラマーに、そして俳優にと、エンターテインメントの道に進んだ原点です。世界ジャンボリーで英会話に、毎年の偕楽園の清掃奉仕で人の役に立つことにも目覚め、今も日々地域のゴミ拾いをしています。ボーイスカウトで周りの人と関わり、様々な体験をしたことが今の私を作っています。そんな機会を一人でも多くの子どもたちに提供したいですね。

社会で活躍する若者から語る、BS運動の大切さ



枝迫 雄大さん

広告代理店勤務



高校時代に仲間3人で「人の役に立つこと」と、飛び込みで農作業や村祭りのお手伝いをさせてもらった冒険旅行が思い出深いです。また大学時代、日本連盟の支援を受けた個人プロジェクトで北欧の環境に配慮した町づくりや教育について現地学んでこれたことは自身の大きな糧となっています。老若男女いろんな人と関わりあって、仲間とさまざまな苦労や成功体験を重ねる。ボーイスカウトでのこうした経験が、お客様の課題に寄り添って一緒に解決策を考え提案していくという今の私の仕事に生きています。



長谷川 明里さん

看護学生



私は活動を通して、チームで最大限の力を発揮するために必要な力を身に着けました。全国から集まった初めて出会う仲間との7日間のハードな訓練キャンプ(富士特別野営)では、班長を務めたため、班員の個性を活かすために、互いに尊重の姿勢を持ち続けること、自らのあるべき姿を定めて態度で示していくことが不可欠でした。困難な状況下でも仲間との関わり方を考え、協力して乗り越えられた経験は、今でも私の自信であり、これからの更なる成長も鼓舞してくれるものとなっています。

政界・財界からも大きな期待と支援が

これまでも、総裁・総長として、政財界の多くの方々がこの運動を導いて来られました。

歴代総裁



在任期間／1922(大正11)年4月-1924(大正13)年11月
日本の医師・官僚・政治家。台湾総督府民政長官。満鉄初代総裁。逓信大臣、内務大臣、外務大臣。東京市第7代市長、ボーイスカウトのちに日本連盟初代総長

初代
後藤 新平



在任期間／1964(昭和39)年11月-1975(昭和50)年3月
日本の財界人、経営者。第一生命保険、東京芝浦電気(現・東芝)社長を経て、第2代経済団体連合会(経団連)会長。経団連会長を4期、12年務めた。経団連会長の異名「財界総理」。1965年(昭和40年)11月に日本万国博覧会協会会長を引き受け、1970年(昭和45年)3月の大阪万博開催に漕ぎ着けた。

2代
石坂 泰三



在任期間／1975(昭和50)年5月-1978(昭和53)年8月
昭和初期から後期(1920年代-1970年代)の財界人、官僚。札幌オリンピック組織委員会会長。第3代経済団体連合会(経団連)会長。1974年には会長を土光敏夫に引継ぎ、名誉会長となる。

3代
植村 甲午郎



在任期間／1979(昭和54)年5月-1988(昭和63)年8月
昭和時代の日本のエンジニア、実業家。石川島重工業・石川島播磨重工業社長、東芝社長・会長を歴任、日本経済団体連合会第4代会長。他方、橘学苑の理事長、校長を創設者の母から引き継ぎ、「メザンの土光さん」としても親しまれた。

4代
土光 敏夫



在任期間／1988(昭和63)年9月-1994(平成6)年5月
日本の電子技術者、実業家。ソニー創業者。教育活動に熱心にとりくみ、1969年に幼児開発協会、1972年にソニー教育振興財団を設立し理事長に就任。1985年にボーイスカウト日本連盟理事長を経て就任している。

5代〔代行〕
井深 大

歴代総長



初代
後藤 新平



2代
斎藤 実



3代
竹下 勇



4代
三島 通陽



5代
久留島 秀三郎

在任期間／1924(大正13)年11月-1929(昭和4)年4月
日本におけるスカウト運動の草創期に多大な尽力。ボーイスカウト日本連盟総裁を経てのちに総長に就任。

在任期間／1935(昭和10)年6月-1936(昭和11)年2月
第30代内閣総理大臣 日本海軍軍人、政治家。階級は海軍大将。ボーイスカウト日本連盟総長就任の翌年、二・二六事件で暗殺された。

在任期間／1937(昭和12)年2月-1941(昭和16)年1月
日本の海軍軍人。最終階級は海軍大将。鹿児島県出身。昭和天皇の英国訪問時ボーイスカウト創始者接見の際の同行者の一人。

在任期間／1951(昭和26)年2月-1965(昭和40)年4月
小説家・劇作家・演劇評論家。子爵。貴族院議員・参議院議員。文部政務次官。二荒芳徳とともにボーイスカウト運動を日本に広めた人物として知られる。

在任期間／1966(昭和41)年5月-1970(昭和45)年9月
多くの会社の社長、会長を務めた財界人、作家。鉱山技師で工学博士でもある。義父は近代児童文化を築き「日本のアンデルセン」と呼ばれた久留島彦彦。



6代
松方 三郎



7代
渡邊 昭



総長代行
佐波 正一

在任期間／1971(昭和46)年5月-1973(昭和48)年9月
登山家、ジャーナリスト、実業家。日本の登山界の草分けの一人で、父は第4代、第6代内閣総理大臣の松方正義。1971年静岡県朝霧高原で開催された第13回世界ジャンボリーの組織委員長を務めた。

在任期間／1974(昭和49)年5月-2003(平成15)年5月
日本の華族、伯爵。貴族院議員。「昭和天皇の最後の御学友」として知られている。大蔵大臣秘書官、企画院総裁秘書官などを歴任。

在任期間／2003(平成15)年5月-2006(平成18)年3月
日本の実業家、元東芝社長・会長。日本経済団体連合会副会長、日本電子機械工業会(現・電子情報技術産業協会)会長などを歴任した。

スカウト運動は世界で展開しています

ボーイスカウトとは……

スカウトとは「先駆者」のことで、ボーイスカウトには「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の発展の先頭に立ちとうとする少年」という意味が込められています。

生命を尊重する心、仲間と話し合っ
て協力する心、モラルや正義感、自然や美しいものに感動する心などが子どもたちの「生きる力」の基礎になります。



多様な青少年教育事業

バッジシステム

人には、それぞれ生まれもった才能もあれば、成長するにつれて興味を持つようになった趣味などもあります。子どもたちは、一人ひとりが個性豊かな可能性を秘めています。その成長に合わせ、個性を伸ばしながら社会人として必要な資質を一つずつ身に付けさせるもの。それが、バッジシステム（進歩制度）の考え方です。

国際協力活動

ボーイスカウトは世界的な組織があり、他の国々の仲間とも力を合わせながら活動を推し進めるグローバルな青少年教育団体です。こうした背景をもとにボーイスカウト日本連盟では、国際理解・国際協力プログラムを積極的に展開し、世界各国との交流活動・支援活動を行っています。

国際協力機構（JICA）が行う青年海外協力隊にも、多くのスカウトが参加しています。



世界の仲間は 5,700 万人以上

（正加盟 / 172 の国と地域） ※ 2021 年 8 月現在

世界共通のビジョン Creating a Better World （より良き社会の創造）

目的：より良き社会人の育成

本連盟は、ボーイスカウトの組織を通じ、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ、誠実、勇気、自信および国際愛と人道主義を把握し、実践できるよう教育することを持って教育の目的としています。



1907年に創始者が英国で行った少年たちとの最初の実験キャンプ

100年の歴史

ボーイスカウト運動の発祥は1907年のイギリス。それが日本に伝わり、やがて全国で組織化されてから2022年に100周年を迎えます。この長い歴史の中では多くの方々にご支援を頂いております。ボーイスカウトが定期的に行うキャンプ大会には皇室からご臨席を賜り、海外においてもロイヤルからの参加は珍しくありません。また、政界・財界からも多くのご支援を頂いております。

現代社会の青少年を 取り巻く環境

ボーイスカウトの役割

現在、日本の子どもは6人に一人が相対的貧困といわれています。また、いじめ等による若者の自殺も社会課題で、若い世代の死因の1位が自殺となっているのは先進国では日本だけです（内閣府統計）
このような社会環境の中、自然の中での仲間たちとの触れ合いを通じてたくましさや優しさを身につけ、地域社会への奉仕活動などを通じて思いやりの心が育まれるボーイスカウト活動への期待が高まっています。困っている人には手をさしあげる。仲間と助け合って大きな力を発揮する。このような心と技能をもった若者を多く育成していくことが私たちの役割です。



関東大震災復興奉仕（1923年）



阪神・淡路大震災での奉仕活動（1995年）



東日本大震災での奉仕活動（2011年）



全国防災キャラバン（2016年～）



東日本大震災以降は被災地の子どもたちの心のケアのための遊び支援にも取り組んでいます（2011年～）

ボーイスカウトの 社会貢献活動の歩み

日本連盟創設の翌1923年の関東大震災に始まり、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震など、様々な被災地において、地域の方々の復興活動の支援活動や、被災地の子どもたちへの野外での遊びの機会提供による心のケア等の活動、そして広く支援を集める街頭募金活動などを行ってきました。

また日頃からの防災に役立つさまざまな知恵を、広く全国の子どもたちに伝えていくべく、ボーイスカウトとイオンの共同で、全国防災キャラバンを2016年から継続的に開催しています。



時代とともに青少年を取り巻く環境は変化し、わたしたちは常にその課題と向き合ってきました。2022年に100周年を迎える日本のボーイスカウト運動。今までも、いまでも、そしてこれからも、私たちは青少年の「今」と「未来」とに向き合っていきます。

そして、
次の100年へ



公益財団法人に対する寄付金は、一定の損金算入限度額に相当する金額まで、一般の寄付金とは別枠で損金として扱うことができます。

詳しいご案内はこちらから

